RV34x シリーズ ルータのポート フォワーディング/ポート Triggering/NAT を設定して下さい

目標

誘発するポート フォワーディングおよびポートの目的を説明し、RV34x シリーズ ルータのこれらの機能を設定する指示を提供して下さい。

- ポート フォワーディングおよびポート誘発の比較
- ポート フォワーディングおよびポート誘発の設定
- ネットワーク アドレス変換（NAT）の設定

適当なデバイス

- RV34x ルータシリーズ

[Software Version]

- 1.0.01.17

ポート フォワーディングおよびポート誘発の比較

これらの機能はプライベートにしておきたいと思うことリソースを保護している間何人かのインターネットユーザをネットワークの特定のリソースにアクセスできる割り当てます。 これが使用される時いくつかの例の: Web をホストして/サーバ、警報 システムおよび保安用カメラを E-メールを送って下さい（ビデオをに offsite 送り返すためコンピュータ）。 ポート フォワーディングは指定 サービスのための受信 トラフィックに応じてポートをオープンにします。

Setup ウィザードのサービス マネジメント セクションで情報を入力するときこれらのポートのリストおよび記述は設定されます。 ポート両方フォワーディングおよびポート誘発のためにセットこれら、同じ ポート数を使用できない時。

ポート フォワーディング

ポート フォワーディングはテクノロジーですローカルエリア・ネットワーク（LAN）のネットワーク デバイスのサービスに受信 トラフィックに応じてサービスのための特定のポートをオープンにすることによってパブリックアクセスを許可する。 これはパケットにより速いダウンロード速度およびより低いレイテンシーを可能にする意図されたデスティネーションにクリア パスがあることを確認します。 これはネットワークの単一のコンピューターのために設定 されます。 特定のコンピュータの IP アドレスを追加する必要があり、変更できません。

これは選択する開き、変更しない特定のポート範囲を静的なオペレーションです。 これは設定されたポートが開いている常にのでセキュリティリスクを高めるかもしれません。

割り当てられたことドアがそのデバイスにそのポートで開いている常にことを想像して下さい。

ポート誘発

ポート誘発はポート フォワーディングに類似したややセキュアでありではない。 違いはトリガー ポートがその特定のトラフィックのために開いていない常にことです。 LAN のリソースがトリガー ポートを通して送信トラフィックを送信 した後、ルータは特定のポートかポート範囲を通して受信 トラフィックを聞き取ります。 誘発されたポートはセキュリティに追加するアクティビティがないとき閉じます。 もう一つの利点はネットワークの複数のコンピュータが異なる時刻にこのポートにアクセスできることです。 従って、それ自動的にしますこれをそれを先立って誘発するコンピュータの IP アドレスを知る必要はありません。

誰かにパスを与えているあなたについて考えて下さいしかしそこにパスを持つ次の人が着くまでいつもドアを入力し、閉じるパスをチェックするそこにドアボーイです。

ポート フォワーディングおよびポート誘発の設定

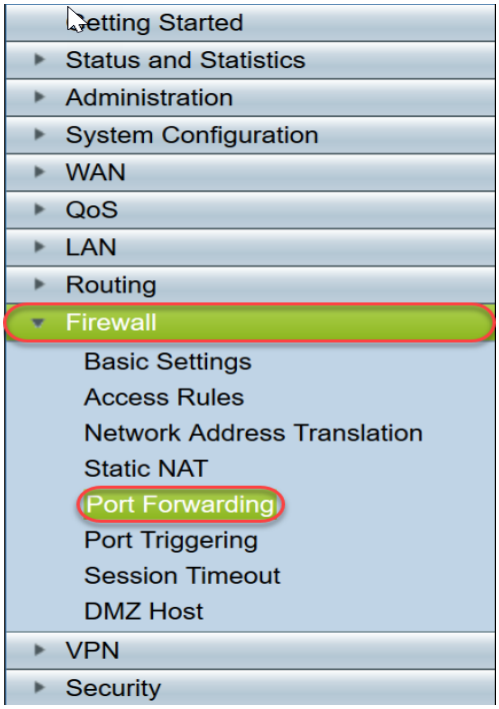
ポート フォワーディング

ポート フォワーディングを設定するために、次の手順に従って下さい:

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログイン。 検索/アドレスバーでルータのための IP アドレスを入力して下さい。 ブラウザは Webサイトが信頼できないこと警告を発するかもしれません。 Webサイトに進んで下さい。 このステップのより多くの指導に関しては、ここをクリックして下さい。

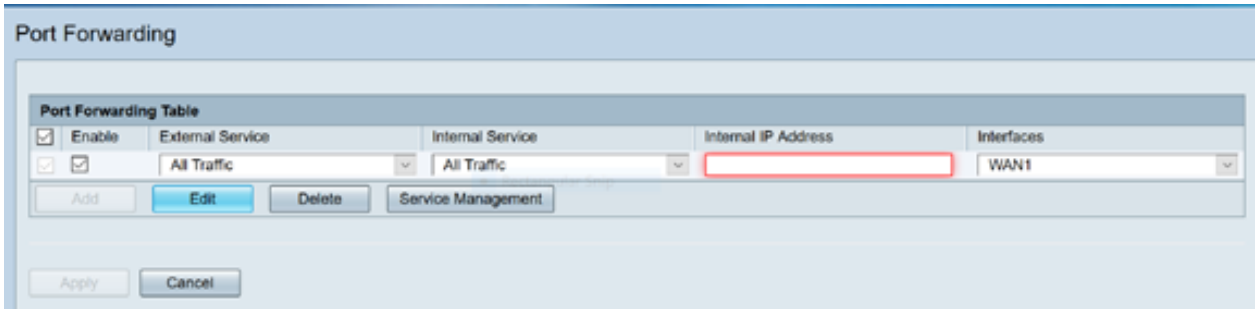
ルータのためのユーザ名 および パスワードを入力し、『Log In』 をクリック して下さい。 デフォルトのユーザ名およびパスワードは cisco です。

ステップ 2.From は左側のメイン メニュー、**ファイアウォール > ポート フォワーディングをクリックします**



ポート フォワーディング表で、『Add』 をクリック しか、または行を選択し、次を設定するために『Edit』 をクリック して下さい:

外部サービス	ドロップダウン リストから外部サービスを選択して下さい。 サービスがリストさていなければ (、サービス マネジメント セクションの手順に従うことによってリトを追加するか、または修正できます。)
内部サービス	ドロップダウン リストから内部サービスを選択して下さい。 サービスがリストさていなければ (、サービス マネジメント セクションの手順に従うことによってリトを追加するか、または修正できます。)
内部 IP アドレス	サーバの内部 IP アドレスを入力して下さい。
インターフェイス	ポート フォワーディングを適用するためにドロップダウン リストからインターフイスを、選択して下さい。
ステータス	ポート フォワーディング ルールを有効に するか、または無効に して下さい。

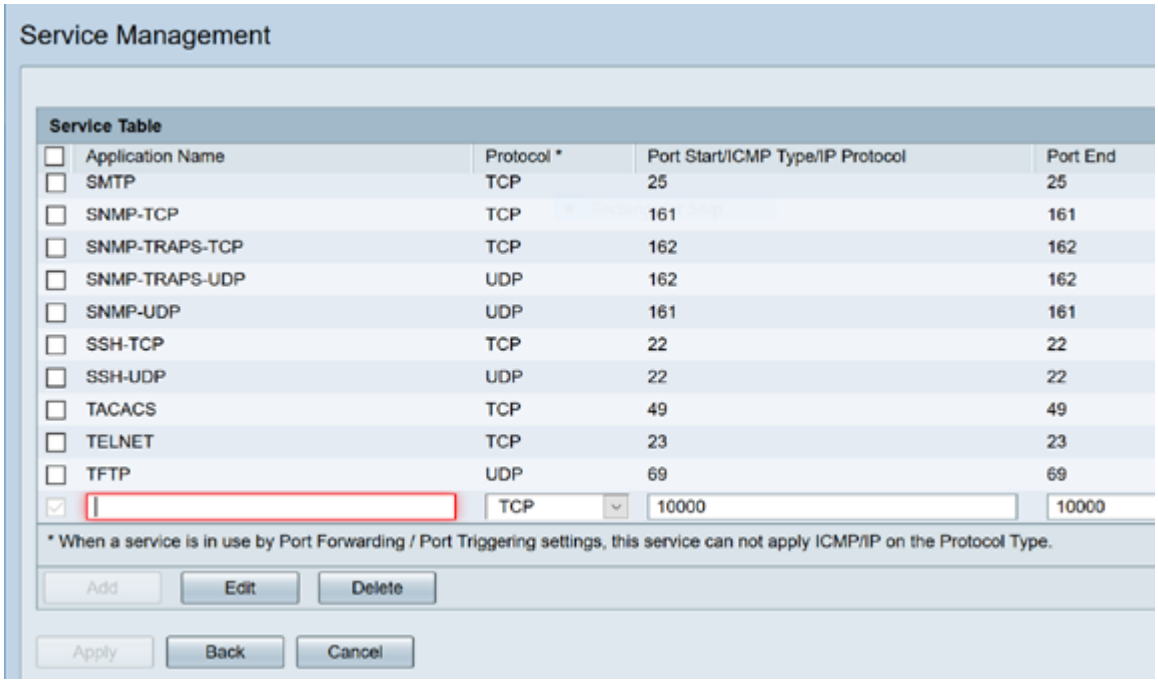


たとえば、会社は LAN の Webサーバを (192.0.2.1 の内部 IP アドレスと) ホストします。 HTTP トラフィックのためのポート フォワーディング ルールは有効に することができます。 これはそのネットワークにインターネットからの要求を可能にします。 会社は第 80 (HTTP) 転送されるべき IP アドレス 192.0.2.1 に設定 します、そして外部利用者からすべての HTTP 要求は 192.0.2.1 に転送されます。 それはネットワークのその特定のデバイスのために設定されます。

ステップ 3**サービス管理を**クリックして下さい

サービス表で、『Add』 をクリック しか、または行を選択し、次を『Edit』 をクリック し、設定して下さい:

- アプリケーション 名–サービスまたはアプリケーションの名前
- プロトコル–必須プロトコル。 ホストしていることサービスのためのドキュメントを参照して下さい
- ポート Start/ICMP Type/IP プロトコル–このサービスのために予約されるポート 番号の範囲
- ポート端–このサービスのために予約済みのポートの最後の数

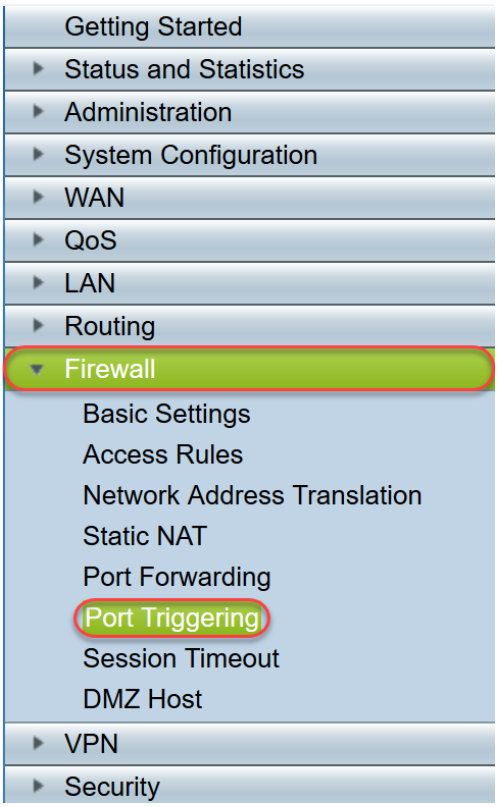


ステップ 4. 『Apply』 をクリック して下さい

ポート誘発

誘発するポートを設定するために次の手順に従って下さい:

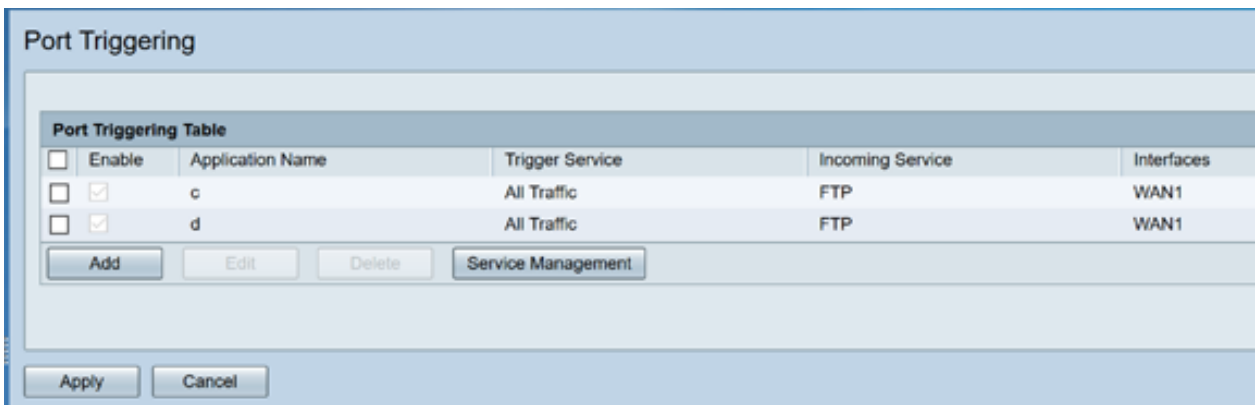
ステップ 1.Log Web コンフィギュレーションユーティリティに。 左側のメイン メニューから、**ファイアウォール > ポート誘発を**クリックして下さい



ステップ 2.To は表を誘発するポートにサービスを設定します次を追加するか、または編集します:

アプリケーション名	アプリケーションの名前を入力して下さい。
サービスを誘発して下さい	ドロップダウン リストからサービスを選択して下さい。 サービスがリスなければ (、サービス マネジメント セクションの手順に従うことによっ追加するか、または修正できます。)
着信サービス	ドロップダウン リストからサービスを選択して下さい。 サービスがリスなければ (、サービス マネジメント セクションの手順に従うことによっ追加するか、または修正できます。)
インターフェイス	ドロップダウン リストからインターフェイスを選択して下さい。
ステータス	ルールを誘発するポートを有効に するか、または無効にして下さい。

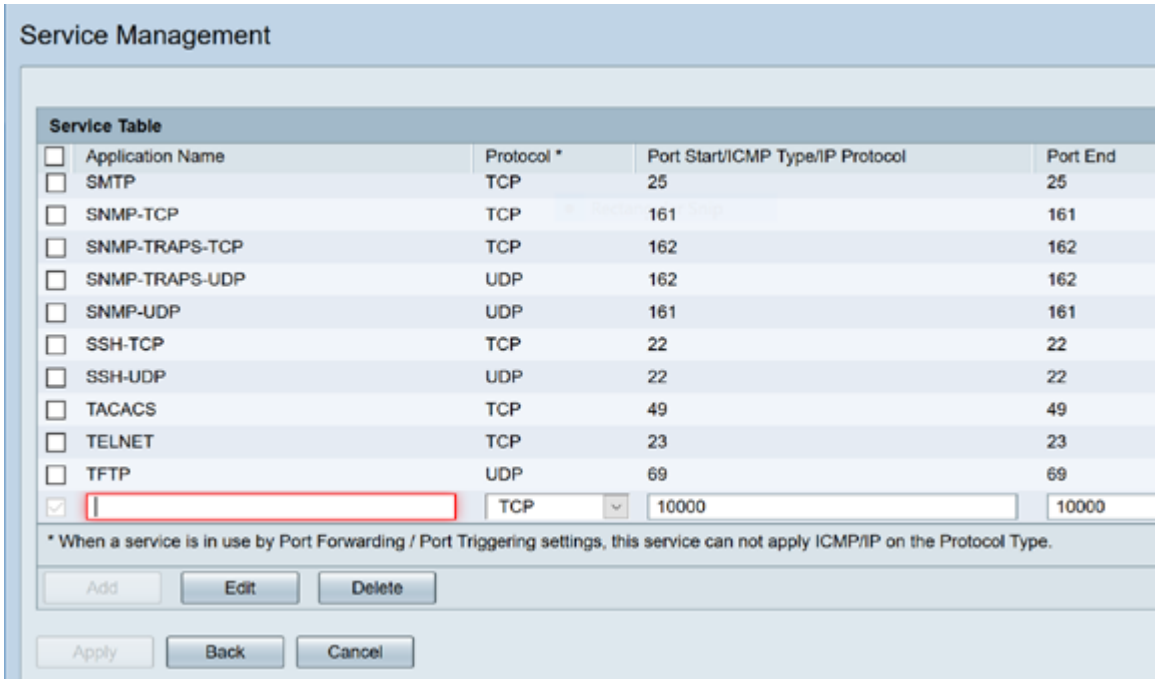
(または行を選択し、『Edit』 をクリック し、) 『Add』 をクリック して下さい次の情報を入力して下さい:



ステップ 3. Service リストのエントリを追加するか、または編集するために**サービス管理を**、クリックして下さい。

サービス表で、次を『Add』 をクリック しか、または**編集し、**設定して下さい:

- アプリケーション 名–サービスまたはアプリケーションの名前
- プロトコル–必須プロトコル。 ホストしていることサービスのためのドキュメントを参照して下さい
- ポート Start/ICMP Type/IP プロトコル–このサービスのために予約されるポート 番号の範囲
- ポート端–このサービスのために予約済みのポートの最後の数



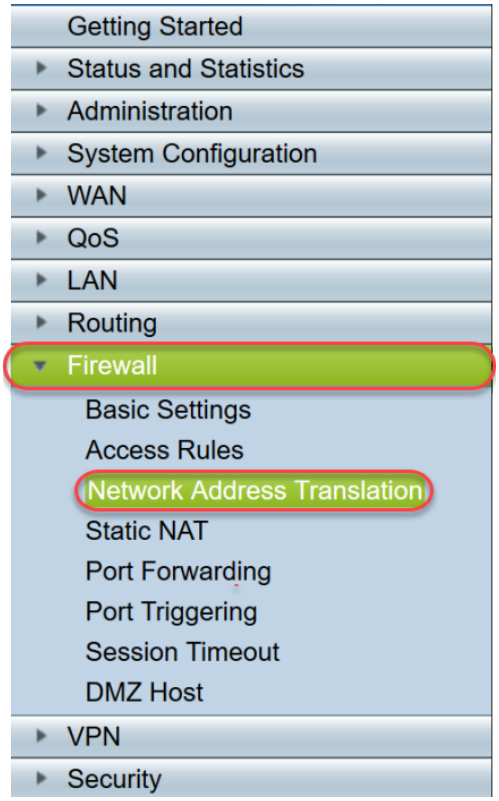
ステップ 4Apply をクリックします。

ネットワーク アドレス変換 (NAT)

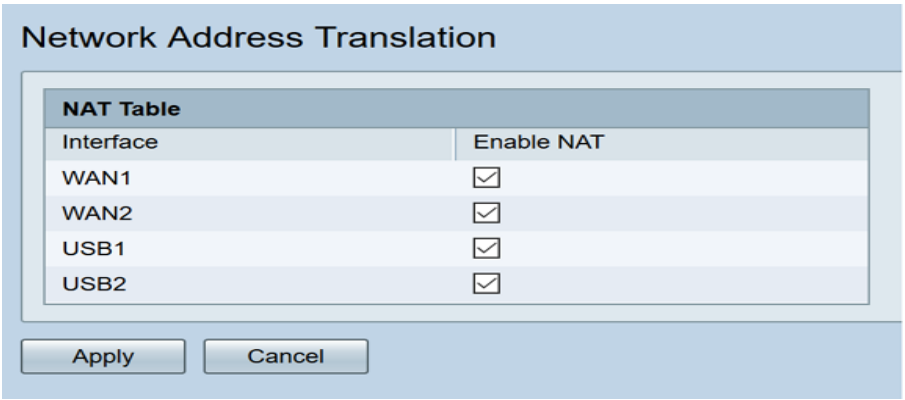
ネットワーク アドレス変換 (NAT) はパブリックネットワークに接続することを未登録 IP アドレスの私用 IP ネットワークが可能にします。 これはほとんどのネットワークの一般に設定されたプロトコルです。 NAT は公共 IP アドレスにパケットがパブリックネットワークに転送される前に内部ネットワークの私用 IP アドレスを変換します。 これは内部ネットワークの多数のホストが公共 IP アドレスの限られた数を通してインターネットにアクセスするようにします。 これはまた私用 IP アドレスが保存された非表示であるのであらゆる悪意のある不正侵入かディス力バリから私用 IP アドレスの保護を助けます。

NAT を設定するために、次の手順に従って下さい

ステップ 1.Click **ファイアウォール > ネットワーク アドレス変換 (NAT)**



呼び出します。 NAT 表では、有効に なるためにリストの各適切なインターフェイスがあるように有効 NAT を確認して下さい



ステップ 3. 『Apply』 をクリック して下さい

誘発する設定されたポート フォワーディング、ポートおよび NAT が正常に今あります。

他のリソース

- スタティック NAT の設定には、ここをクリックして下さい
- ルータについての多くの質問に対する回答に関しては、RV3xx シリーズを含んで、ここをクリックして下さい
- RV34x シリーズの FAQ に関しては、ここをクリックして下さい
- RV345 および RV345P に関する詳細については、ここをクリックして下さい
- RV34x シリーズのサービス管理の設定に関する詳細については、ここをクリックして下さい

表示して下さいこの技術情報に関するビデオを...

Cisco からの他の Tech Talk を表示するためにここをクリックして下さい